

第33回例会 2019年3月20日(水) 晴 No. 2891 ●ソング＝それこそロータリー 進行：鈴木裕子副SAA

■卓話■

藤井 匠会員

私の母のショートステイの件で介護施設の利用をケアマネージャーと話をしていた中で、冬場の施設利用が非常に多くなかなか空気が無いとの話になり、理由を聞いたら家が寒いので冬場の避寒のためにショートステイを利用する、確かに今の60代より上の方々がお建てになった家は断熱に関する意識があまり無い頃の物で、省エネルギーの点ばかりではなく、室温の健康に対する影響も明らかに成ってきました。(一社)日本サステナブル建築協会が、平成26～30年度に断熱改修を予定する住宅に居住する方の、改修前と後の健康調査を行った結果が発表に成っていますのでご紹介します。

得られたデータに基づき検証を行ったところ、住宅の室内環境が血圧など健康関連事象に与える影響について、以下の知見が確認された。

1. 室温が年間を通じて安定している住宅では、居住者の血圧の季節差が顕著に小さい。
2. 居住者の血圧は、部屋間の温度差が大きく、床近傍の室温が低い住宅で優位に高い。
3. 断熱改修後に、居住者の起床時の最高血圧が有意に低下。

4. 室温が低い家では、コレステロール値が基準範囲を超える人、心電図の異常所見がある人が有意に多い。

5. 就寝前の室温が低い住宅ほど、過活動膀胱症状を有する人が有意に多い。断熱改修後に就寝前居間室温が上昇した住宅では、過活動膀胱症状が有意に緩和。

6. 床近傍の室温が低い住宅では、様々な疾病・病状を有する人が有意に多い。

7. 断熱改修に伴う室温上昇によって暖房習慣が変化した住宅では、住宅内身体活動時間が有意に増加。

* グラフ7枚：国土交通省住宅局安心居住推進課 住宅内の室温の変化が居住者の健康に与える影響とは？調査結果から得られつつある「新たな知見」について報告します 平成31年1月24日プレスリリースより。

日本の住宅の断熱性能がまだまだ低く、既存住宅で次世代省エネ基準をクリア出来る家は全体の7%程度という残念なデータも有ります。

健康な生活を送るためにも、家の断熱についてもう一度考えてみましょう。

■会長報告■

先日、とある方から「山地さん、今年の大河はどう？」って聞かれました。

ロータリーの卓話でも話をした事がある通り私は大河ドラマの大ファンです。

ただ、見ない大河もあるわけでして決して鷹揚に構えてる訳ではなく例えば昨年の「西郷どん」は嫌いな原作、好みじゃない脚本、なにより薩長嫌いなので幕末（特に薩長が善設の物）は見ない事しております。（我々は奥羽越列藩同盟だぞ!）

ということで2015年の松陰の妹とかいう訳ワカラン設定、その次の年の真田丸は好きな材料ながら脚本がホームドラマの域から抜け出せず、翌年の直虎は幾分マシだったものの一年続けるのはやはり難儀なお題で…

正直ここ四年ほど維新モノ・戦国モノで飽き飽

きしていたところに日本初のオリンピック参加話、1964年の東京五輪っていう何とも新鮮な話題で楽しくない訳がなく珍しく日曜日と翌週土曜日の再放送まで見入っております。

皆勘違いしていますが大河にチョンマゲは決してデフォルトではない訳で第1回の「花の生涯」は1963年の作品ですが井伊直弼主人公ですから1860年の話で（桜田門外の変）放映から100年前の物語です。「いだてん」の舞台は1908年から（ロンドン五輪）ですからやはり100年前でこういう理屈をこねれば明治時代とはもはや歴史と云えるかと思えます。

時代は間もなく新しい元号になるときに大河はチョンマゲ、チャンバラだとか明治は近代だなどと云ってると取り残されますよ。僕たちは昭和・平成・新元号と三世代を生き抜く訳ですから。

■幹事報告■

1. 例会変更のお知らせ

3月27日(水)：盛岡西北RCと合同例会及び親睦会開催のため「大同苑」にて18：30より

2. ザ・ロータリアン誌4月号回覧します。

■ビジター■

熊谷達雄様（盛岡東RC）

☆工藤 泰 会員…今日も皆様にお会いできて大変うれしので、スマイルします。休みがちでしたが久々に出席できましたので、スマイルします。

☆石杜有慎 会員…みずほ銀行でバレンタインジャンボを買ったら当たりましたので、中川支店長に感謝し、一部をスマイルします。

☆岩井澤昭一 会員…ゼルデン（オーストリア）から無事帰って来ました。楽しいスキーが出来ました。

☆吉田祐一 会員…無事、スキーツアーから帰盛しました。ゼルデンは良いコースがいっぱいありました。

出 席 報 告

会員数	38名
出席数	13名
出席率	48.14%
前々回修正出席率	55.17%